

<http://www.typemiss.net/blog/kounoike/20061019-100>
<http://blog.goo.ne.jp/lunatic-sol/e/7ec238390bf77761d6a1a968b5bd3a81>
<http://www.s.kyushu-u.ac.jp/~3HE11026G/manual/sshdwin.html>
<http://rcmdnk.github.io/blog/2014/09/04/computer-remote/>

ダイナミックフォワードを設定する

SSH でダイナミックフォワード

ssh でダイナミックポートフォワードをする場合、

```
ssh -D ポート番号 ssh サーバホスト名
```

PortForwarder でダイナミックフォワード

config.ini を編集します。

```
DynamicForward localhost:1080 (1080 の部分は空きポート番号を任意で指定)
```

PuTTY でダイナミックフォワード

PuTTY で行う場合には、以下の方法で設定することができます。

Puttyjp を使っているので日本語メニューで説明

1. PuTTY Configuration 画面を開く
2. 接続 > SSH > トンネル を展開
3. 源ポートにフォワード元の LISTEN ポートを指定
4. ダイナミックをチェック
5. [追加] ボタンを押下

pfwd.exe でダイナミックフォワード

pfwd.ini を作成します。

pfwd_sample.ini の改行コードが LF なので、TeraPad などのエディタを使用して改行コードの設定を維持したほうが無難です。

```
[SSH]
Host=ah.s.kyushu-u.ac.jp
Port=22
Compression=1
ProtocolVersion=2
User=ab12345

; パスワード
; ・省略時にはセッションに設定されているものが使われます
; ・ダイアログボックスから入力したい場合は空文字を指定します
; ・平文パスワードの先頭に "@" を付けると暗号化パスワードに変換されます
Password=

[FORWARD]
01=D1080
```